

いま子ども達が危ない！暴力、貧困など多くの課題に全力で取り組みます

子ども達を見守る地域のチカラが低下し
地元の連携が弱まるのが心配されます

六実地区で発生した小学生女児の殺害事件には、松戸市のみならず全国の方々が不安に襲われました。容疑者が、被害にあわれた児童の父母会の会長であったことも、人々に与えたショックをさらに大きくしています。みのわ信矢は、松戸市子ども会の地区会長をしていますが、容疑者逮捕後に多数の子ども会が集まって開催した役員会では、児童の安全対策を根本的に見直さなければいけないという危機感を抱く保護者が、とてもたくさんいました。その理由として、防犯パトロールや通学の見守り活動をする男性が、減ってしまうかもしれない状況にあるからです。逮捕された男性は、子ども達の信用を得ている立場にありました。一部の報道では、その立場を利用した可能性もあるとの指摘もみられますが、「自分も

そのような目で見られ、疑われてしまうのではないか・・・」という不安から、一時的なものかもしれませんが、見守りや警備を控えてしまう男性が多数あらわれてしまいました。善意があっても、協力することに抵抗がある。そのようなとても残念な状況を生んでしまったという意味でも、今回の事件が与えた影響は小さくありません。



貧困や格差は子どもの責任ではありません。
全ての子どもが等しく希望を持てる社会に
今、6人に1人の子どもが、貧困の状態にあると言われている。しかしその実態は、なかなか社会に理解されて



いません。親は携帯電話やスマホ、車も持っている。実際は貧困にあっても、一見普通の暮らしに見えるため、支援の手が差しのべられないというケースが多いという点が、現代の貧困の特徴でもあります。みのわ信矢は、以前から「子どもの貧困」対策を市に強く求めています。子どもは、自分の環境を選んで生まれてくることができません。家庭の経済力の差で、未来の輝きにも差がついてしまう。そのようなことなく、皆が希望を抱ける社会であるべきです。

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** **検索**
連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部